

各位

株式会社カナモト
(9678 東証第1部 札証)
代表取締役社長 金本 哲男
<資料に関するお問合せ先>
執行役員総務部長・広報室長 廣瀬 俊
電話:011-209-1631

新中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、60期となる5年後の2024年を見据えた5ヵ年計画「新中期経営計画」を策定いたしました。

当社は、今年の10月28日で設立55周年を迎え、これまで築き上げてきた基盤とグループ力を最大限に発揮し、継続的成長を目指し、カナモトブランドの確立と設立60周年そして100周年を迎えられる強い企業となるため、以下の施策の推進に積極的に取り組んでまいります。

記

新中期経営計画「Creative 60」(クリエイティブ ロクマル)

今後はAI等の技術発展により、産業構造が大きく変化していくことが予測されるが、その変化にただ対応したり追従するだけではなく、新しい基準やビジネスモデルを創造する。新しい時代における新しいカナモトグループを創造する。

新中期経営計画「Creative 60」重点施策

1. 国内営業基盤の拡充 — グループの総力を結集
 - ・既存エリアの深掘り
 - ・未進出エリア、低シェア領域の開拓
 - ・非建設分野への進出
2. 海外展開 — 海外戦略2.0(Next Generation)へのバージョンアップ
 - ・グローバルポートフォリオの最適化
 - ・カナモト版グローバルプラットフォームの確立
 - ・ノンオーガニック戦略 ～海外でのM&Aの取り組み
 - ・海外売上比率10%への布石
3. 内部オペレーションの最適化 — レンタルビジネスの収益性向上
 - ・営業戦略(マーケティング、営業)とITの融合
 - ・商品企画、研究開発への資源投資 工事現場に必要な技術やシステム開発
～カナロボ ナクシデント AXキューイン ICT建機～
 - ・業務効率向上
 - ・グループ流通を促進する環境整備～原価コントロール、長期的な安定稼働～
 - ・人財の確保と育成への注力

以上

※詳しくは、別紙資料をご参照ください。

新中期経営計画

(2020～2024年度)

Creative 60

2019年12月06日

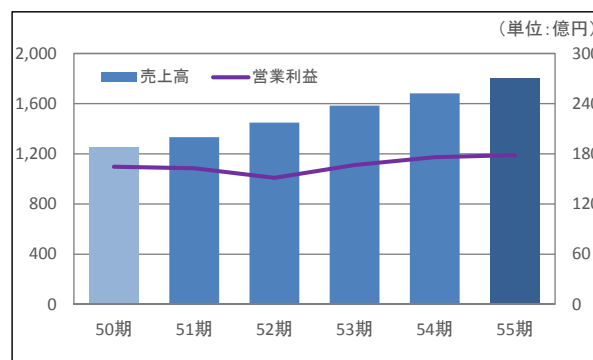
 株式会社カナモト

中期経営計画(2015～2019年度)の振り返り

■成果は「成長基調を維持して推移」

	50期	55期
(連結会社の状況)		
会社数	10社	11社
拠点	286拠点	408拠点
ヒト	2,339人	3,282人
総資産	1,885億円	2,681億円
(グループ全体)		
会社数	19社	32社
拠点	347拠点	516拠点

【連結業績推移】



■財務健全化 ～金融収支が大幅改善～

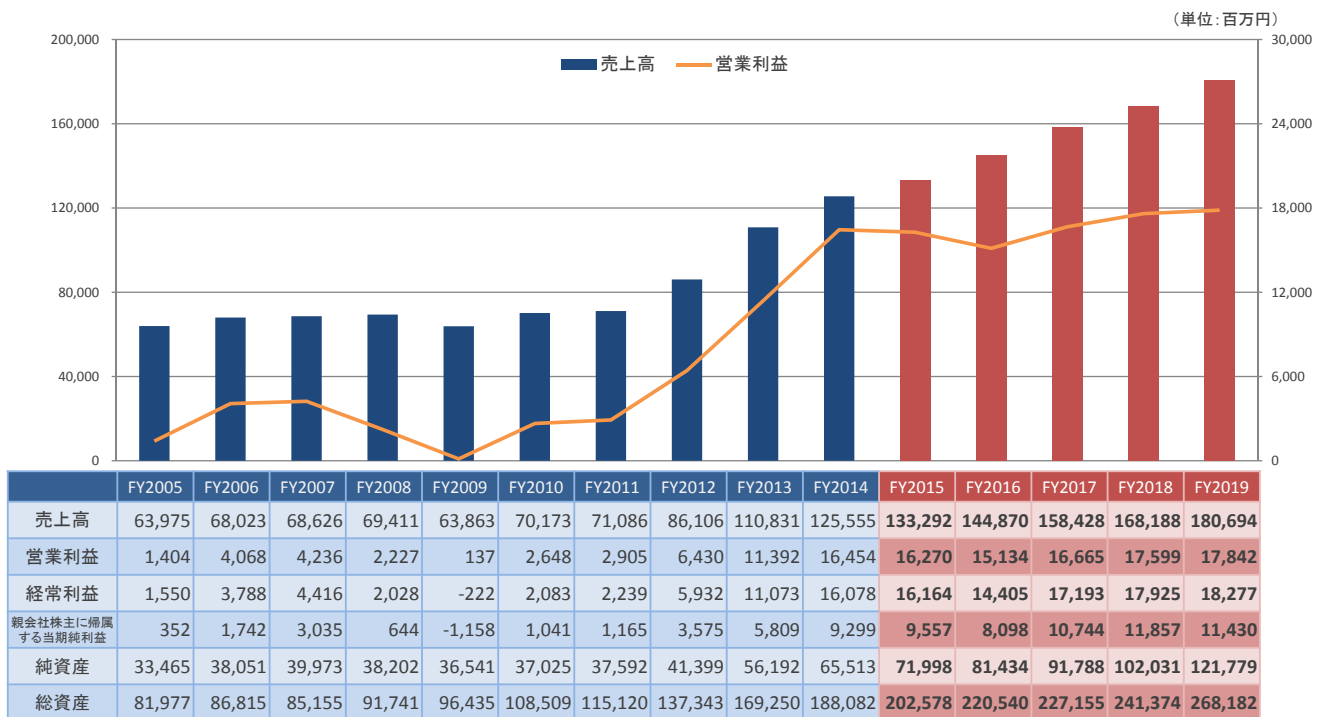
企業評価の向上:

発行体格付 (R&I : 2014/8) 「BBB」(安定的) → 「BBB+」(安定的) (R&I : 2019/9)

(JCR : 2014/9) 「BBB」(ホジティブ) → 「BBB+」(ホジティブ) (JCR : 2019/8)

345万株(公募増資225万株、オーバーアロットメント45万株+自己株式処分75万株) 2018/11

■業績 ～売上利益共に過去最高～



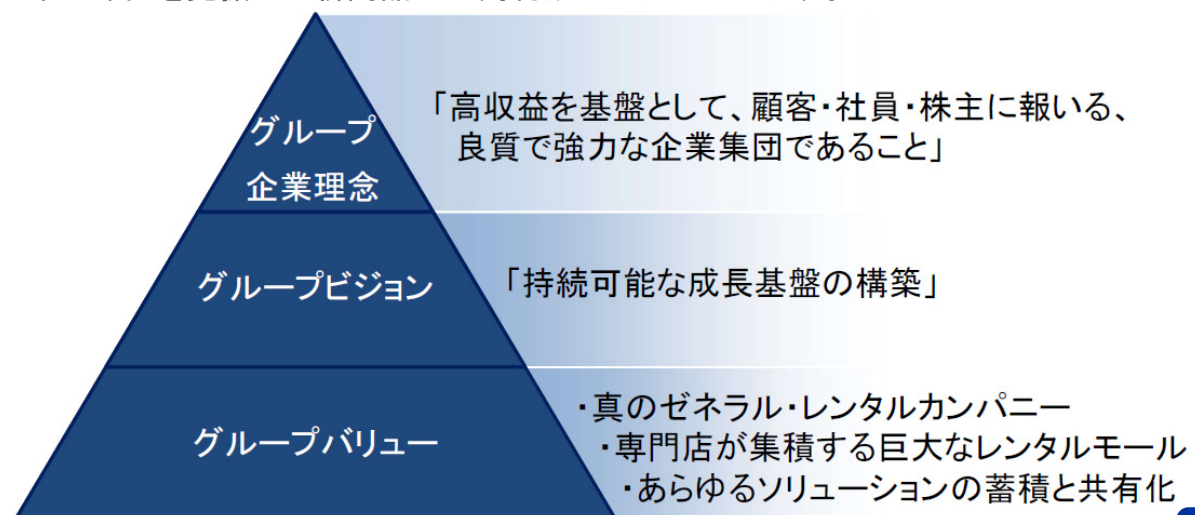
(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

■カナモトグループ — 新中期経営計画 —

「Creative 60」(クリエイティブロクマル)

今後はAI等の技術発展により、産業構造が大きく変化していくことが予測されるが、その変化にただ対応したり追従するだけではなく、新しい基準やビジネスモデルを創造する。新しい時代における新しいカナモトグループを創造する。

10年20年先を見据えた新商品や人材育成に注力いたします。



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

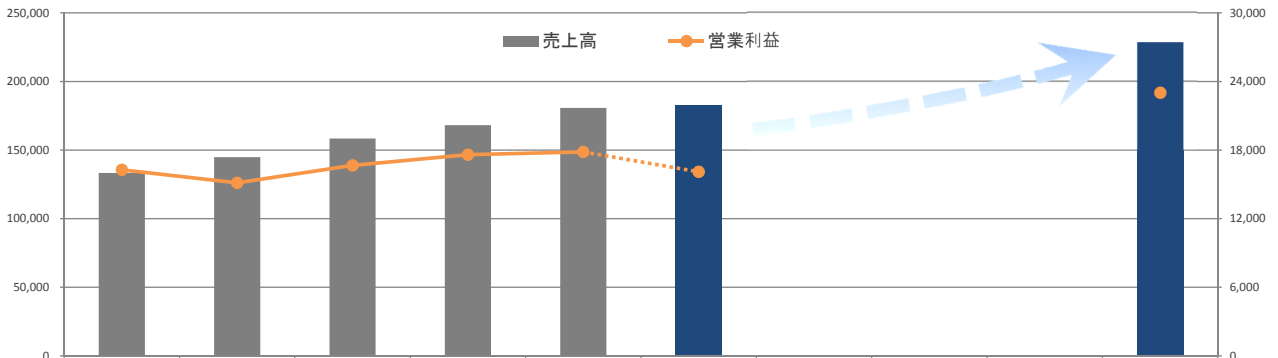
■新中期経営計画 — 「Creative 60」重点施策 —

1. 「国内営業基盤の拡充」— グループの総力を結集
 - ・既存エリアの深掘り
 - ・未進出エリア、低シェア領域の開拓
 - ・非建設分野への進出
2. 「海外展開」— 海外戦略2.0 (Next Generation) へのバージョンアップ
 - ・グローバルポートフォリオの最適化
 - ・カナモト版グローバルプラットフォームの確立
 - ・ノンオーガニック戦略 ～海外でのM&Aの取り組み
 - ・海外売上比率10%への布石
3. 「内部オペレーションの最適化」— レンタルビジネスの収益性向上
 - ・営業戦略(マーケティング、営業)とITの融合
 - ・商品企画、研究開発への資源投資 工事現場に必要な技術やシステム開発
～カナロボ ナクシデント AXキューイン ICT建機～
 - ・業務効率向上
 - ・グループ流通を促進する環境整備～原価コントロール、長期的な安定稼働～
 - ・人財の確保と育成への注力

■新中期経営計画 — 「Creative 60」数値目標 —

外部環境の変化(資材・労務費の高騰、競争激化等)、自社環境の変化(レンタル原価、人件費の上昇等)による成長阻害要因を克服し、新しい時代の強いカナモトグループを創造する。

(単位:百万円)



BULL55 業容の拡大

体制強化

強いカナモトグループへ

・売上高 2,000億円への達成 ・最高利益の更新

■新中期経営計画 — 「Creative 60」数値目標 —

(単位:億円)

	FY2019	FY2024/E
売上高	1,806	2,280
営業利益	178	230
自己資本比率	43.1%	48.7%
EPS(円)	295.30	387.54
BPS(円)	2,981.68	4,036.19
ROA	4.5%	4.8%
ROE	10.8%	10.0%
EBITDA+	563	727

(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

7

■新中期経営計画 — 「Creative 60」数値目標 —

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	FY2019	FY2024/E
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,146	50,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,989	△4,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,740	△31,636
現金及び現金同等物の増加高	6,388	14,244
現金及び現金同等物の期首残高	36,733	58,177
現金及び現金同等物の期末残高	43,511	72,421

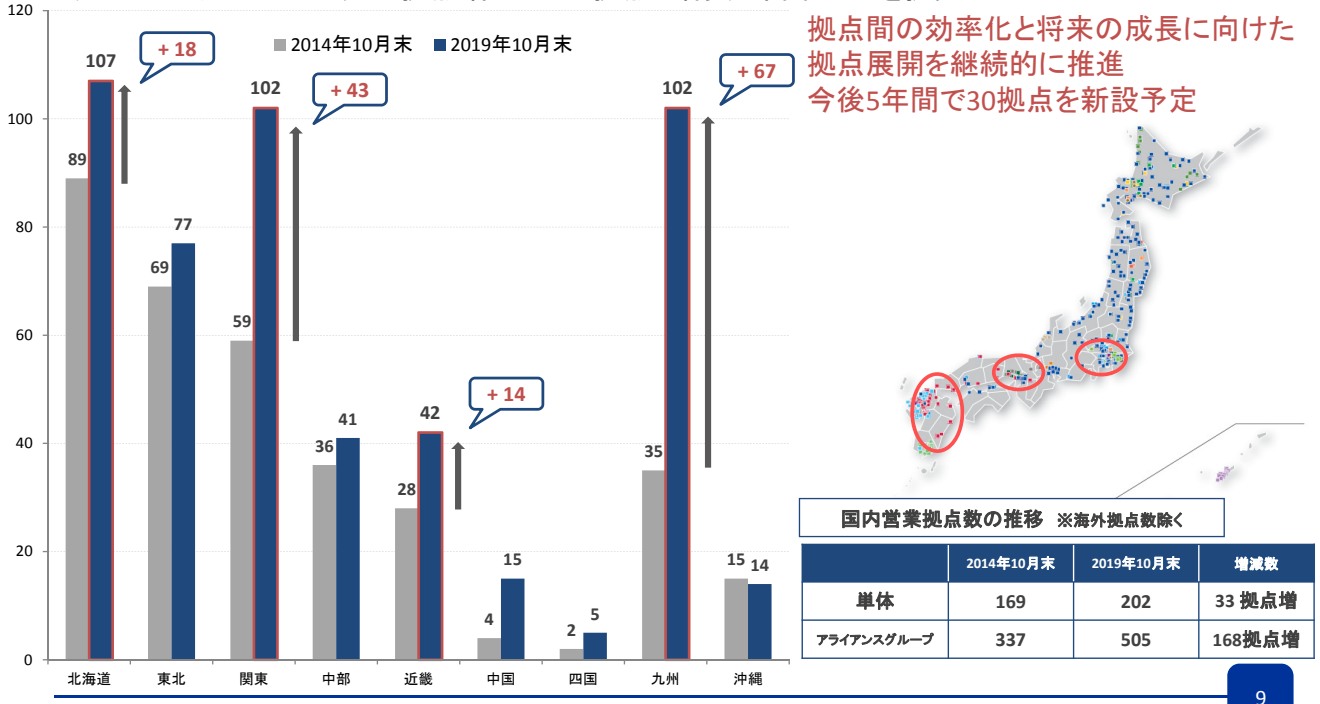
(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

8

■新中期経営計画 — 国内営業基盤の拡充 —

カナモト単体の国内営業拠点数は、33拠点を新設し202拠点

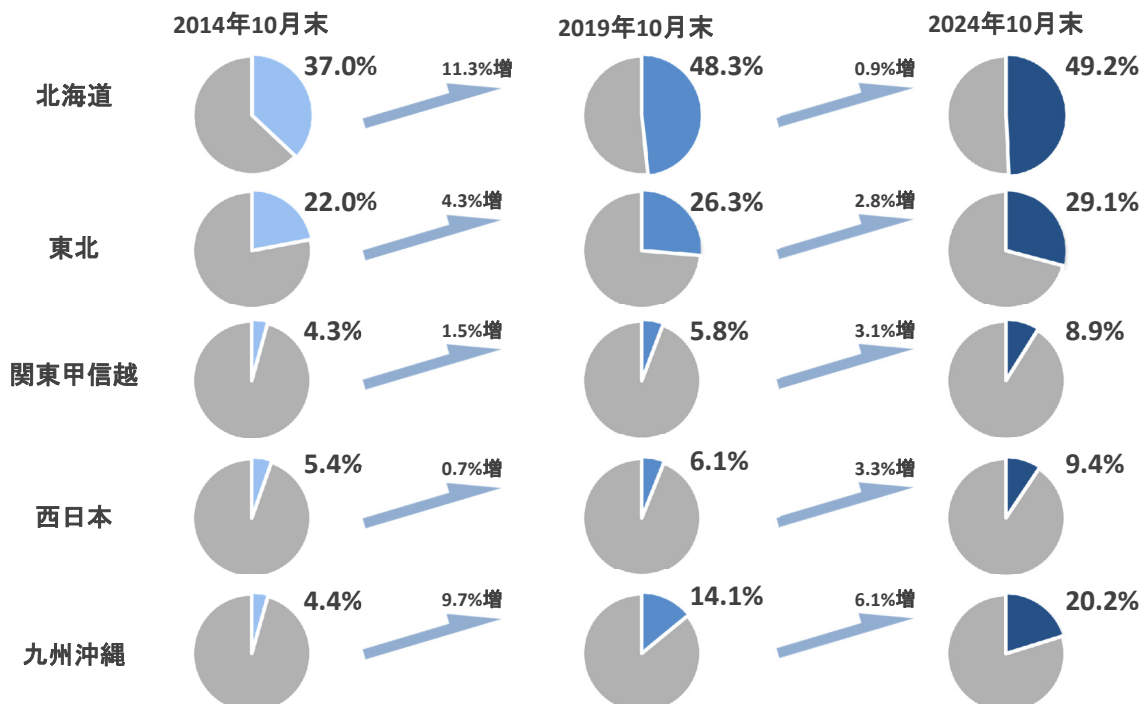
アライアンスグループは、168拠点増加の505拠点と着実に営業基盤を拡充



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

■新中期経営計画 — 国内営業基盤の拡充 —

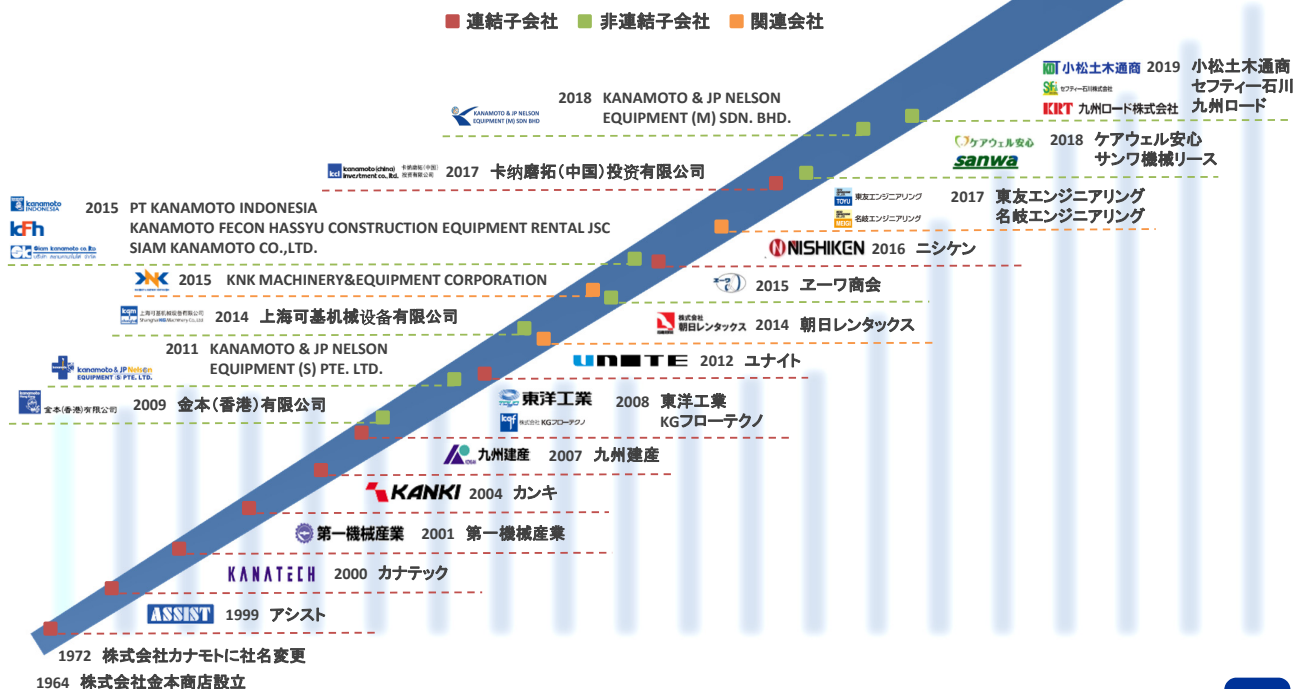
空白エリアを優先した地域戦略推進・営業強化とシェアの拡大



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

■新中期経営計画 — M&Aの軌跡 —

独自の店舗拡充に加えてM&Aを継続的に実施することで成長



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

■新中期経営計画 — 海外展開 —

金本(香港)有限公司

2009年設立 (非連結子会社)

KANAMOTO & JP NELSON EQUIPMENT (S) PTE. LTD.

2011年設立 (非連結子会社)

上海可基机械设备有限公司

2014年設立 (非連結子会社)

PT KANAMOTO INDONESIA

2015年設立 (非連結子会社)

KANAMOTO FECON HASSYU CONSTRUCTION EQUIPMENT RENTAL JSC

2015年設立 (非連結子会社)

SIAM KANAMOTO CO.,LTD.

2015年設立 (非連結子会社)

KNK MACHINERY & EQUIPMENT CORPORATION

2015年設立 (関連会社)

カナ磨拓(中国)投资有限公司

2017年設立 (連結子会社)

KANAMOTO & JP NELSON EQUIPMENT (M) SDN. BHD.

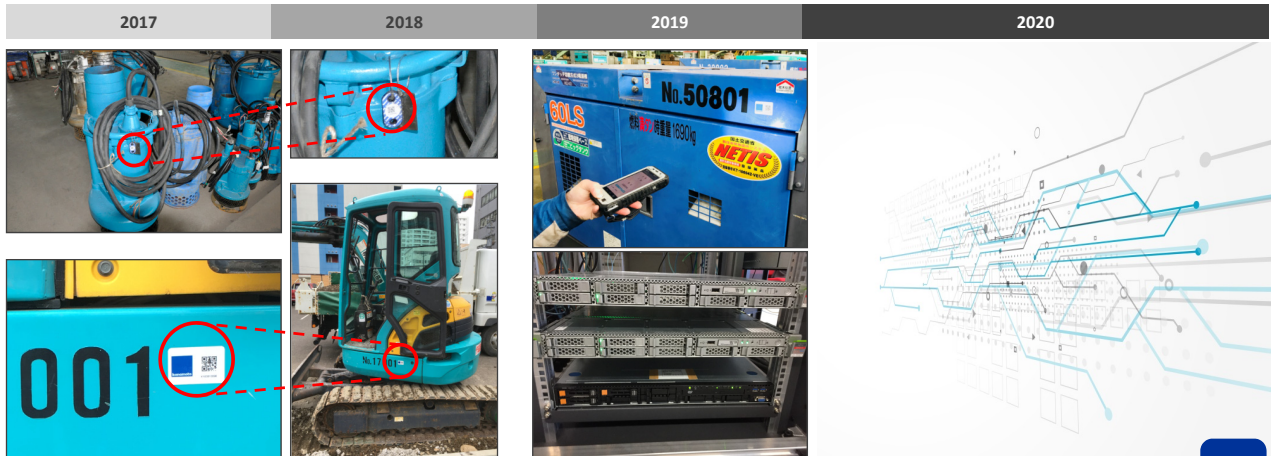
2018年設立 (非連結子会社)



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

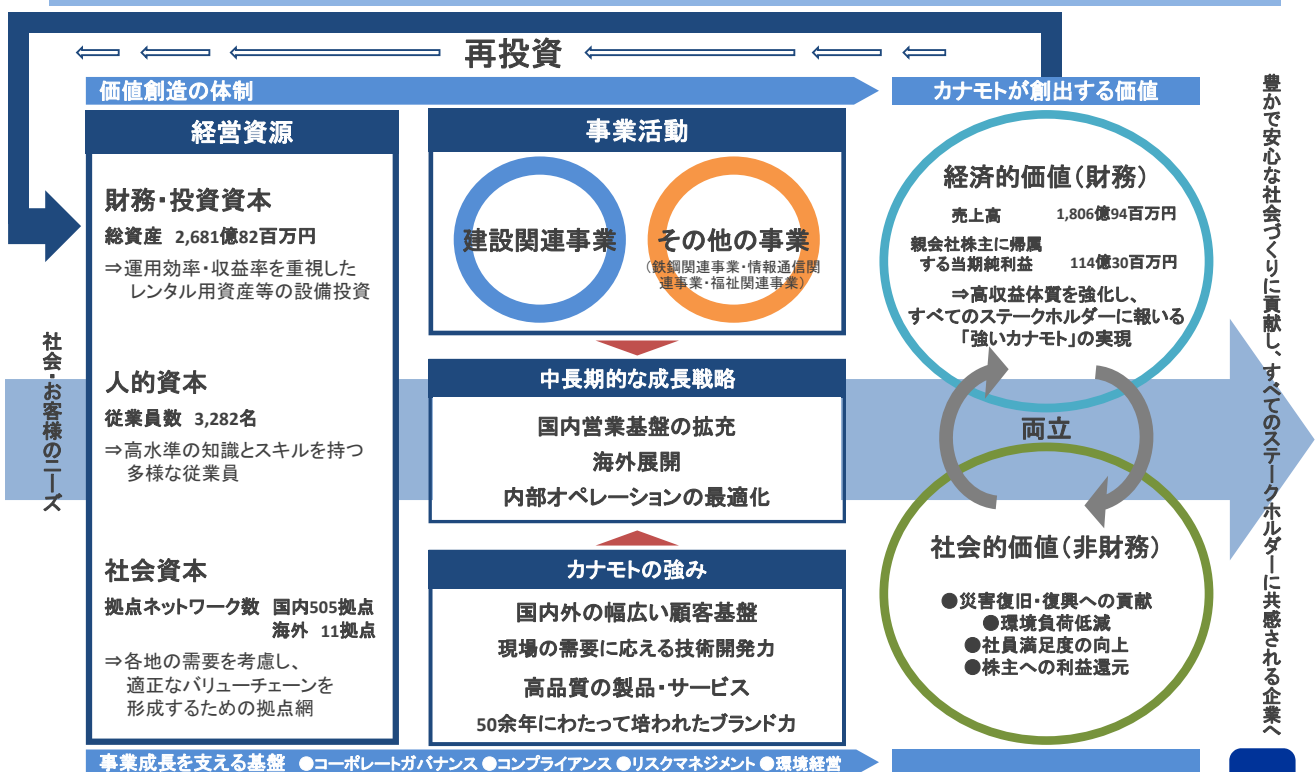
■新中期経営計画 — 内部オペレーションの最適化 —

- システム導入実績
- システム導入予定
- QRコード・ICタグ サービスイン







(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

■新中期経営計画 — 価値創造プロセス —



(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

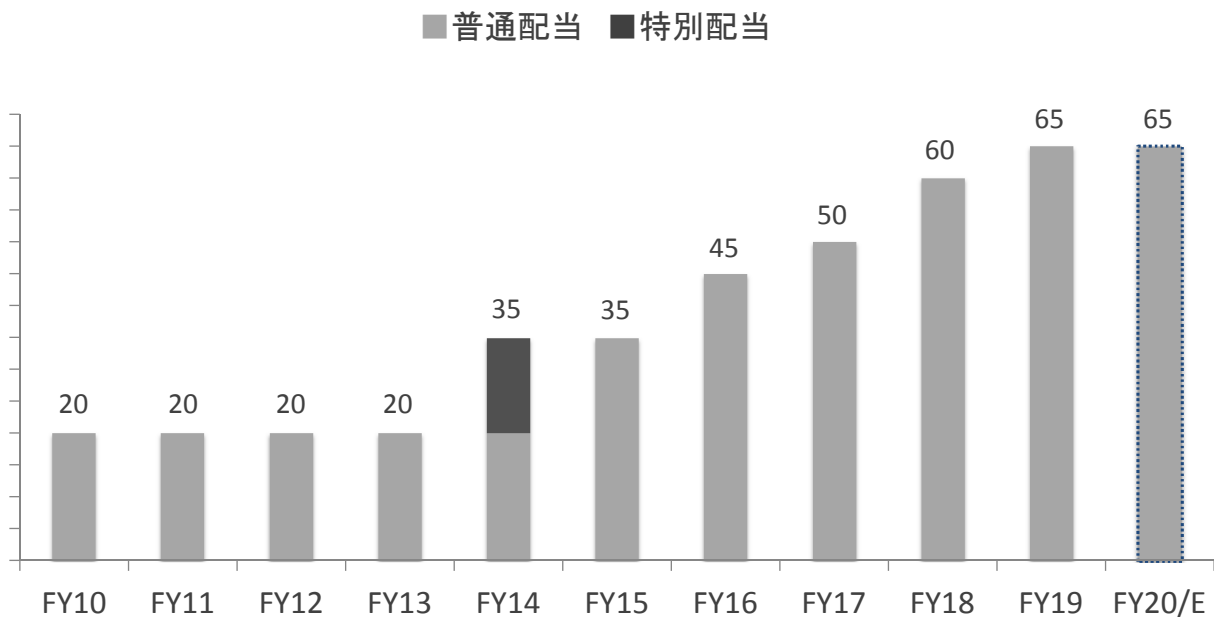
■新中期経営計画 — ESG —

価値創造		SDGs達成に貢献するビジネス	製品・サービスを通じて、SDGsの達成に貢献する新しい価値を創造し、持続的な社会の発展に貢献します。	
価値創造を支える基盤	E 環境	環境	限られた地球資源のなかで持続可能な社会を実現するために、環境法規の遵守、適切な環境マネジメントの推進はもとより、あらゆる事業活動において環境との関わりを認識し、環境への負荷を低減するとともに生物多様性を保全します。	
	S 社会	ディスクロージャーとIR活動の充実 情報セキュリティの強化 安全衛生体制の強化 人材育成の環境整備	公平性・透明性が高く、速やかな情報開示と開示媒体の拡充を実践するとともに、国内外の株主・投資家に向けたIR活動の充実を図ります。 個人情報をはじめ、多くの情報資産を取り扱う企業の責任として、情報資産の管理と保護のため、万全なセキュリティを確保します。 すべての従業員が安全で心身ともに健康で生き生きと仕事に取り組むことができる職場環境の維持・向上を目指します。 さまざまな視点・考え方をを持った人材がそれぞれの個性や能力を十分に発揮し、その多様性によってイノベーションが生まれる環境を目指します。	
	G ガバナンス	コーポレート・ガバナンス コンプライアンス 内部統制システム リスクマネジメント	企業価値を向上していくために、コンプライアンスの強化、コーポレート・ガバナンスやコンプライアンスの推進が重要な経営課題であると認識し、これを推進します。	

■新中期経営計画 — 配当政策 —

配当政策につきましては、安定した配当を持続させることを経営の課題としています。

(単位:円)





(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

17

お問い合わせ先

株式会社カナモト 広報室
〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1-19
TEL.011-209-1631(土日祝除く8:30~17:00)

ホームページ <https://www.kanamoto.co.jp>
IRサイト <https://www.kanamoto.ne.jp>

【免責事項】

本説明会及び説明資料に含まれる歴史的事実ではないものは将来の見通しです。
将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり多分に不確定な要素を含んでおります。
従いましてこれらの見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。
実際の業績等はさまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

(C) Copyright Kanamoto Co., Ltd. 2019 All rights reserved.

18